

JTU-HYOGO  
兵庫高等学校教職員組合  
日本教職員組合(日教組)

# 兵高教新聞

裏面紹介  
◇ 高校生平和大使活動報告会  
◇ 第40回高校教育シンポジウム(案内) 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人:西村恭介 編集:兵高教書記局

## 10/4 県教委 2022年度高等学校進学希望者数等調査の結果公表

＝国公立中学校卒業予定者数、前年度比 905 人増＝

### 1 進学希望等の状況

単位:人(%)

区分	令和4年度	令和3年度	令和3年度との差	
国公立中学校卒業予定者数	44,005 (100.0)	43,100 (100.0)	+905 (-)	
高等学校進学希望者数	43,691 (99.3)	42,770 (99.2)	+921 (+0.1)	
県内	公立高校			
	全日制	36,108 (82.1)	35,678 (82.8)	+430 (Δ0.7)
	定時制・多部制	799 (1.8)	746 (1.7)	+53 (+0.1)
	通信制	147 (0.3)	124 (0.3)	+23 (±0.0)
計	37,054 (84.2)	36,548 (84.8)	+506 (Δ0.6)	
私立高校(全日制)	2,067 (4.7)	2,023 (4.7)	+44 (±0.0)	
高等専門学校	640 (1.5)	622 (1.4)	+18 (+0.1)	
特別支援学校高等部	530 (1.2)	537 (1.2)	Δ7 (±0.0)	
計	40,291 (91.6)	39,730 (92.2)	+561 (Δ0.6)	
県外	国公立高校(全日制)	297 (0.7)	252 (0.6)	+45 (+0.1)
	私立高校(全日制)	1,141 (2.6)	1,010 (2.3)	+131 (+0.3)
	公立通信制高校	21 (0.0)	4 (0.0)	+17 (±0.0)
	その他	82 (0.2)	74 (0.2)	+8 (±0.0)
計	1,541 (3.5)	1,340 (3.1)	+201 (+0.4)	
広域通信	県内に本校を置く高校	166 (0.4)	147 (0.3)	+19 (+0.1)
	県外に本校を置く高校	1,002 (2.3)	786 (1.8)	+216 (+0.5)
計	1,168 (2.7)	933 (2.2)	+235 (+0.5)	
進学先未定	691 (1.6)	767 (1.8)	Δ76 (Δ0.2)	
専修学校等	121 (0.3)	119 (0.3)	+2 (±0.0)	
就職	63 (0.1)	87 (0.2)	Δ24 (Δ0.1)	
進路未定	130 (0.3)	124 (0.3)	+6 (±0.0)	

10月4日、兵庫県教育委員会は9月1日現在で実施した「令和4年度高等学校進学希望者数等調査」の結果を公表しました。調査結果によると、今年度末の国公立中学校卒業予定者数は44,005人と昨年度と比べて905人増となっており、高等学校進学希望者数も921人増加しています。現時点での定時制・多部制(県内)への進学希望者は799人と昨年より53人増加し、通信制への進学希望者も県内公立147人(昨年同期比23人増)、広域通信制へは1,168人(昨年同期比235人増)と昨年を大きく上回る状態です。昨年度までは中学校卒業予定者数の減少が続いており、今年度でも全県で100学級減となつていきます。今年度の中学校卒業予定者数は、全県の規模では増加に転じましたが、第4・第5学区の公立高校志望者の減少には歯止めがかかっておらず、2021年度入試における学区ごとの実態をふまえると、全県の規模では学級増が抑え込まれる懸念も拭きません。「すべての希望する人に後期中等教育を保障する」ためには、進学設定率を100%に

注1 各年度の数値は、いずれも、前年の9月1日現在のものである(以下同じ)。  
 2 ( )書きは国公立中学校卒業予定者数全体に占める割合である(以下同じ)。  
 3 県外の「その他」は、定時制高校、高等専門学校、特別支援学校高等部である。  
 4 「専修学校等」は、専修学校・各種学校・公共職業訓練施設である。  
 5 表中の割合は、四捨五入の関係で必ずしも100%にはならない。

県教委記者発表資料より

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、家計状況の悪化等子どもたちをとりまく状況に厳しさが増えています。兵高教は兵高教組と連携を取りながら、子どもたちの豊かな学びを保障する観点に立ち、高校教育改革の進捗状況や各学区の抱える課題解決を基本に据え、全県的・中長期的な視野に立つてとりくみをすすめていきます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、家計状況の悪化等子どもたちをとりまく状況に厳しさが増えています。兵高教は兵高教組と連携を取りながら、子どもたちの豊かな学びを保障する観点に立ち、高校教育改革の進捗状況や各学区の抱える課題解決を基本に据え、全県的・中長期的な視野に立つてとりくみをすすめていきます。



兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。  
 ※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

### 第40回高校教育シンポジウムのご案内

☆全国の高校のなかまとともに、学校・地域の実態に基づいたカリキュラムづくりや現場からの高校改革、インクルーシブな高校づくりなどの課題解決にむけて協議し、学び、考えを深める貴重な機会です。

とき:11月6日(土)13:00~17:00

形態:「Zoom」によるWeb集会(自宅からでも参加できます)

内容:

①基調報告 中谷正史日教組高校・大学部長

②シンポジウム「新たな学びの構築へ」

参加者:菊地 栄治さん(早稲田大学)

澤田 稔さん(上智大学)、

中田 正敏さん(神奈川県高等学校教育会館教育研究所)

コーディネータ:本間正吾さん(神奈川県高等学校教育会館教育研究所)

③分科会

第1分科会「カリキュラム編成、進路保障」

《報告》神奈川高「ESDのとらえ方」について

共同研究者:澤田 稔さん、中田正敏さん

第2分科会「高校再編、高校入試改革、大学入試改革」

《報告》岩手高「学校統廃合」について

共同研究者:菊地栄治さん

第3分科会「定時制・通信制教育」

《報告》熊本高『定時制・通信制高等学校生活実態白書』について

共同研究者:生駒俊樹さん(京都芸術大学)、本間正吾さん

※第3分科会は、後半「夜間定時制」「多部制」「通信制」の3つの分散会を行います。

★各分科会とも「新型コロナウイルス感染症にともなう学校の現状ととりくみ交流」を行うとともに、「インクルーシブな学校づくり」をテーマに協議を行います。

◆参加を希望される方、詳しく説明を聞いてみたいという方は、電話かメールで書記局までご連絡ください。女性・青年層の参加を歓迎します。参加申し込みは10月28日(木)までお願いします。

### 兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験合格者のみなさま、おめでとうございます!

★第一志望区分で2次試験を受験された兵高教組合員のみなさんは全員合格されました!!



採用試験対策は兵高教にご相談ください♪👏👏👏

### 第1回拡大闘争委員会開催

とき 10月30日(土)11:30~12:30

ところ 書記局会議室

内容 対県確定交渉の動向・課題、方針 など

★各支部・専門部の代表者を中心に参加をお願いします。



### 高校生平和大使を支援する兵庫県実行委員会第2回総会 第24代高校生平和大使活動報告会

10月10日(日)14:00より、兵庫県学校厚生会館において、高校生平和大使を支援する兵庫県実行委員会総会および活動報告会が行われました。

実行委員長あいさつに続き、被爆二世である黒田一美さん(副実行委員長・兵庫県議会議員)より、ご自身の想いを語っていただきました。黒田さんのお母様は看護師として広島に動員され、被爆されたそうです。お母様は原爆投下後の「黒い雨」にあたらず、かろうじて生き延びることができましたが、同僚の看護師や医師の多くは次々と亡くなられたとのことでした。「母がもし被爆後亡くなっていたら、戦後生まれの私は今ここにいない」と語られ、核兵器の恐ろしさ、非人道性を訴え、核廃絶と恒久平和を希求する高校生平和大使の活動にエールを送りました。

その後、第24代高校生平和大使の岡本美里さん(小林聖心女子学院)とサポートチームの片瀬奏磨さん(報徳学園高校)、長富日向さん(甲南女子高校)の3人より、8月の「高校生平和集会 in 長崎」での体験や感想、これまでのとりくみと今後の計画等の報告がありました。

今年も新型コロナウイルス感染症は収束せず、2年続けてジュネーブの国連欧州本部派遣は叶いませんでした。8月末に予定されていた結団式も、12月に延期されています。このような状況下にありながらも、兵庫の平和大使とサポートチームは長崎の平和集会で出会った他県の平和大使とオンラインで交流を重ね、WebサイトやSNSで発信を続けています。

高校生による活動報告の後、長谷川洋子事務局長(JP労組)より、1月以降の活動経過報告、会計報告、活動方針、今後のとりくみが提起され、承認されました。

最後に、参加者と高校生の間で意見交換が行われ、高校生からは「大人のみなさんからも、もっとさまざまな活動の提案やアドバイスをいただきたい」、参加者からは「高校生平和大使とサポートチームの活動を、周りの同世代の人たちにどんどん広げてほしい」等の発言がありました。



第24代高校生平和大使(兵庫)とサポートチームのサイト “Youth Peace Messengers” をぜひ一度ご覧ください。

<https://youthpeacemessenge.wixsite.com/heiwa>



Web サイト



Instagram



Twitter

### 古賀 ちかげ

子ども 暮らし 平和



koga-chikage.jp



Twitter

日政連・第26回参議院議員選挙候補予定者